



# unesco

## Global Geopark

# 室戸ジオパークだより Vol.83



## 室戸高生 島原半島スタディツアー



長崎県にある島原半島ユネスコ世界ジオパークは、雲仙火山が引き起こす災害とそれらの復興、そして火山が生み出す恵みや地形と人の関わりを学べるジオパークです。

今回、防災に関する探究活動を行っている室戸高校生6名は、島原半島の口加高校の生徒と交流し、火山災害について学習しました。

## 今月のトピック

- ・ 室戸高生 島原半島スタディツアー
- ・ 三好ジオとオンラインガイド勉強
- ・ シオギク保護活動
- ・ ジオばた会議 【中川内（羽根川中流地域）】
- ・ 西山台地で健康野菜作りに挑戦
- ・ 佐喜浜小学生を唐谷の滝へ案内

向かった場所のひとつ、旧大野木場小学校舎では、火砕流被害の恐ろしさを学びました。(写真:右上)

町歩きでは湧水を試飲し、火山がもたらす恵みについて学びました。(写真:右下)

火山災害のについて世代を超えて語り継がれる島原半島。室戸とは全く異なる自然災害や防災意識の違いを感じました。

「島原の高校生は地域活性化を多様な側面から研究しており、どうやったら地域が良くなるかを考えている。」という室高の生徒。防災に関して、どうやったら室戸の役に立つのかを意識して、これからも自分たちの探究活動に取り組んでいきたいそうです。



はんれいがんちゃん

島原半島ユネスコ世界ジオパークは、「人と火山の共生」がテーマのジオパーク！



## 三好ジオとオンラインガイド勉強

### 室戸市観光ガイドの会

12月18日、室戸市観光ガイドの会が三好ジオパーク構想とのオンラインガイド&交流会を開催しました。

その日は、同じ四国内でも快晴の室戸の気候に対して、三好は道が真っ白になるほど雪が降っていました。

今回は、三好の人々の暮らしの中でも「農業」に着目してガイドをしていただきました。山の急な斜面での「傾斜地農耕システム」は、国連食糧農業機関(FAO)の世界農業遺産に認定された、約400年にわたって続く地域特有の農法。海に面した温暖な室戸とは全く違った新鮮な光景をオンラインを通してみる事ができました。



三好観光ガイドの松尾さんによるガイド



## シオギク保護活動 室戸市観光ガイドの会

11月27日に室戸市観光ガイドの会主催のシオギク保護活動が室戸岬で行われました。この活動は、室戸岬の自生種であり、天然記念物の「シオギク」の原種を保護するために行われています。

この日は17名のボランティアが活動に参加し、シオギクとノジギクの交配を防ぐためにノジギクを手摘みで駆除しました。種が落ちて繁殖するのを防ぐため、花が開ききる前のノジギクを見つけるのですが、見分けるのが難しく、経験のあるベテランガイドさんに教えてもらいながら作業しました。

この活動は毎年11月下旬に行われています。ベテランガイドさんは「ノジギクの量が年々減ってきているように感じる」と活動の成果を実感しているようです。



駆除したノジギク



## ジオばた会議 [中川内(羽根川中流地域)]

11月25日に、旧中川内小中学校で、ジオばた会議を開催しました。「ジオばた会議」では、地質・地理の専門家がその地域の地質的・自然的・文化的な価値についてお話しすることで、地球科学の観点からその地域の魅力を地域の方々に紹介します。そして、参加者である、地元の方々が知っていることや地域の昔話などを教えてもらう事で、地域への理解をさらに深める事を目的としています。

今回開催された中川内地区には、川の流れが変わった跡に見られる地形の一つである「還流丘陵」があり、川の中心部にある土地が水に削られた事で、島状の地形ができています。これについて、専門員が地形学的な側面から解説。地域の方の中には、何かあることは知っていたが、どのような価値があるのか具体的に知ったのは初めてという人もいました。

地域の方の話では、航空写真で見た学校の屋根の色が変わっていたり、今はあまり使われていない道を行くと、絶景ポイントがあるなど、地元の方ならではの話を伺うことができました。

沢山の参加  
ありがとうございました！

まがり博士



## 西山台地で健康野菜作りに挑戦

小松毅士さんは、父親の故郷である西山台地で農業を始めようと京都から移住してきました。小松さんにとって、西山台地は子どもの頃におじいちゃんの家や畑で遊んだ思い出深い場所でした。

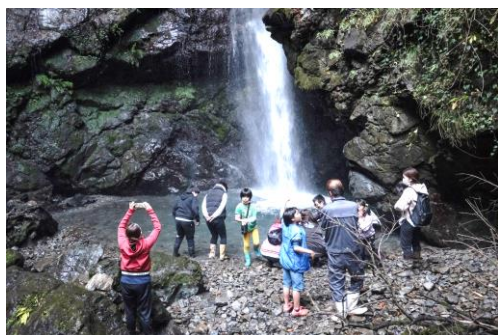
地域の後継者不足問題を目の当たりにした小松さんは、大きな不安を感じました。今農家をしている人たちが、将来農業ができなくなったら、子どもの頃に過ごした大切な場所がなくなってしまう。そんな状況を切なく思い、農家になることを決断しました。

そんな小松さんが最近力を入れているのが、「アピオス」という植物です。マメ科の植物で栄養価が高く、健康野菜として知られているアピオス。今は試行錯誤しながら、ベストな農法を模索しています。通常「根」の部分を食べるアピオスですが、摘み取った花もお茶にして飲むことができます。

「ここでは美味しいものが作れる。農業するにも良い所だし、京都にいた頃には感じられなかった地域との繋がりを感じる。」と西山台地の魅力を語る小松さんは、これからも西山での農業を盛り上げるべく、色んな農作物に挑戦していくそうです。



## 佐喜浜小学生を唐谷の滝へ案内 段杉会



11月19日、佐喜浜小学校の3、4年生と保護者の方を唐谷の滝に案内しました。メインの「雄滝」まで向かう道中には「雌滝」があり、岩壁をしっかりと水がつたい落ちます。最終目的地の雄滝では、水が力強く滝壺に流れ落ち、その姿は圧巻。子どもたちは、滝の水しぶぎに大はしゃぎでした。

常緑樹が多い室戸では珍しく、滝壺に向かう山道は紅葉を見る事ができます。春には、水にぬれた岩壁が植物に反射して黄色く見える現象が起こり、「ホタル水」と呼ぶ地元の人も。季節によって違う表情が見えるのは、この場所ならではの魅力です。



発行：室戸ジオパーク推進協議会

[電話] 0887-22-5161

[Eメール] [info@muroto-geo.jp](mailto:info@muroto-geo.jp)

[住所] 〒781-7101高知県室戸市室戸岬町1810-2 (担当：和田也実)